



第2部

岩手のくらし

第7章
歴史・文化

～豊かな歴史や文化を受け継ぎ、
愛着や誇りを育んでいる岩手～

世界遺産登録件数は全国平均を上回る

■ 世界遺産を守り将来に伝えていくための取組等に対する満足は不満を上回る

令和6年県の施策に関する県民意識調査によると、「世界遺産を守り将来に伝えていくための取組が行われていること」について、重要（「重要」＋「やや重要」）と意識している人の割合は、県計で69.2%となっています（図1）。満足度については、満足（「満足」＋「やや満足」）と意識している人の割合は、県計で25.3%となっており、不満（「不満」＋「やや不満」）の9.0%を上回っています（図2）。

また、「豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境であること」について、重要（「重要」＋「やや重要」）と意識している人の割合は、県計で71.6%となっています（図3）。満足度については、満足（「満足」＋「やや満足」）と意識している人の割合は、県計で23.1%となっており、不満（「不満」＋「やや不満」）の13.8%を上回っています（図4）。

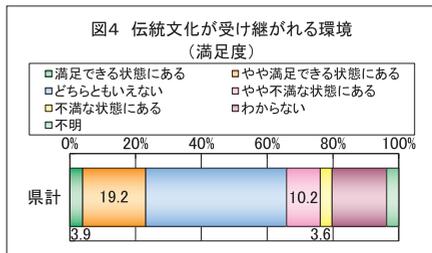
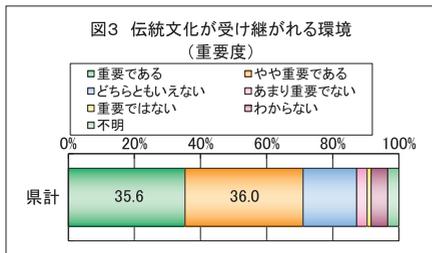
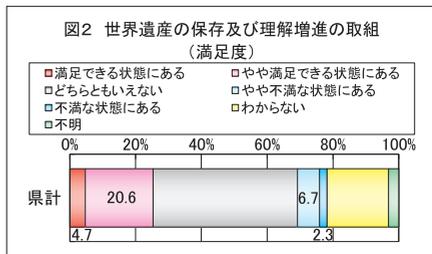
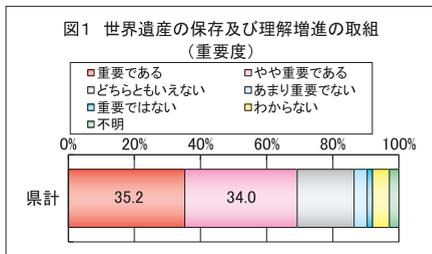
■ 世界遺産登録件数は全国平均を上回る

令和6年（2024年）7月現在の世界遺産登録件数をみると、本県は、平成23年（2011年）に登録された「平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」、平成27年（2015年）に登録された釜石市の橋野鉄鉱山を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」、令和3年（2021年）に登録された一戸町の御所野遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の3件の文化遺産を有しており、奈良県、鹿児島県と並び国内最多です（図5）。

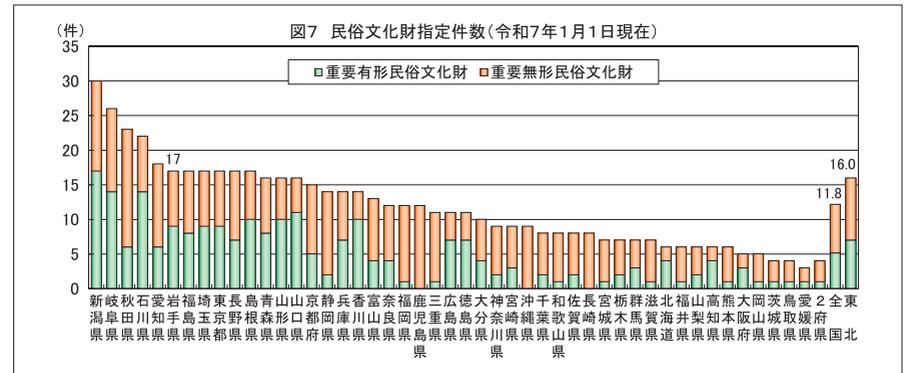
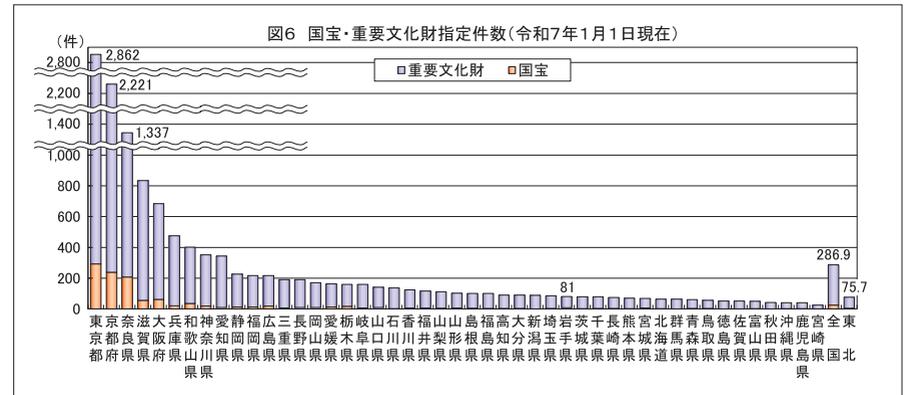
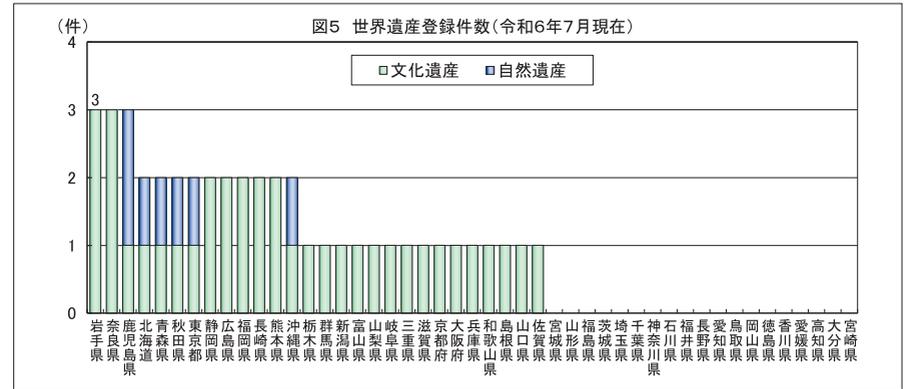
■ 民俗文化財指定件数は全国平均を上回る

令和7年（2025年）1月1日現在の国宝・重要文化財指定件数をみると、本県は81件と全国31位ですが、東北では山形県（102件）、福島県（100件）に次ぐ件数となっています（図6）。

また、令和7年1月1日現在の民俗文化財指定件数（重要有形民俗文化財と重要無形民俗文化財の合計）をみると、本県は17件で全国6位となっており、全国平均（11.8件）を上回っています（図7）。



以上資料：県ふるさと振興部「令和6年県の施策に関する県民意識調査」



※ 2府県 重要有形民俗文化財…「生駒十三峠の十三塚」（奈良・大阪）
重要無形民俗文化財…「室根神社のマツリパ行事」（岩手・宮城）
重要無形民俗文化財…「豊前神楽」（福岡・大分）
重要無形民俗文化財…「因幡・但馬の麒麟獅子舞」（鳥取・兵庫）